

地域とともに

がんばろう!東北

お問い合わせは  
国土交通省  
東北地方整備局  
三陸国道事務所  
地域づくり相談室まで

# 三陸国道

〒027-0029  
宮古市藤の川4の1  
tel 0193-62-1711  
fax 0193-62-5326

三陸国道事務所のホームページ及びさんこく携帯サイトは



で検索出来ます。



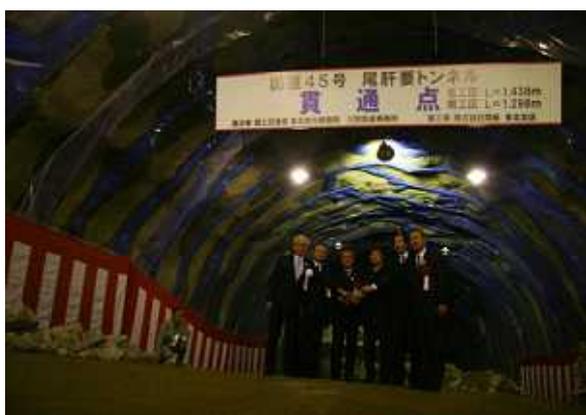
## 三陸沿岸道路「尾肝要トンネル」が貫通 ～復興のリーディングプロジェクトが大きく前進～

国土交通省三陸国道事務所が事業を実施している国道45号「尾肝要道路」は、復興道路として、線形不良区間の解消をはじめ災害時の救援活動など、地域の皆様方から早期完成への強い期待が寄せられております。

平成23年11月に着工した「尾肝要トンネル(延長2,736m)」が、このたび三陸沿岸道路として初めて貫通しました。2月10日(日)の午前10時から、田野畑村にある尾肝要トンネル坑内にて『貫通式』を行いました。



尾肝要トンネル貫通発破



来賓、事業者による通り初め



東北地方整備局徳山局長挨拶

貫通式は施工者である(株)間組主催で行われ、国土交通省東北地方整備局長や田野畑村長を始め来賓や事業者等約140名が出席し、貫通発破、通り初めの儀などが行われました。

式典では東北地方整備局徳山局長が「2,736mに及ぶ長大トンネルを1年3ヶ月という大変なスピードと大変な技術力を持って掘り進んで頂いたことに心から御礼申し上げる。大震災の中で三陸沿岸道路が人の命を救うという大活躍をした。貫通がゴールではない。1日も早い三



田野畑村上机村長挨拶

陸沿岸道路全線の開通を目指して全力を挙げていく」と挨拶しました。

田野畑村上机村長からは「本日は長年の悲願であった尾肝要トンネルが貫通し、村にとって大変嬉しい。谷間の多い村で、村を振興・発展させていくにはどうしてもこの閉伊坂峠を克服しなければならない使命があった。この尾肝要トンネルの貫通は、明治に三村が合併して以来の、地域がひとつになれる最も大事なもの。また、トンネルの岩ズリは全て村の復興事業に使わせて頂く。本日の貫通はこれからの振興に繋がり、復興が加速する。これからは復興と、そして道路を利用した地域振興に更に努めて参りたい」との挨拶を頂きました。

その後、地元の「甲地鹿踊」の皆さんが復興を祈念して舞を披露。貫通式に花を添えました。最後は参加者全員が万歳三唱で「尾肝要トンネル」の貫通を祝いました。

尾肝要トンネルは、今後舗装工事や照明工事等を進め、来年度の開通を目標に地元と一体となって工事を推進してまいります。



貫通式ご出席の皆様



田野畑村の笑顔パネルに展示



尾肝要道路のDVDを見る参加者



施工業者による樽御



アトラクション「甲地鹿踊」

甲地鹿踊（かっちししおどり）茨城県霞ヶ浦の鹿島神宮の鹿踊りの流れをくむ念仏剣舞で、精霊を慰める踊りとして、又、神社での神事やお祭りや芸能として演じられ。人々を魅了し、親しまれただけでなく、地域の信仰として伝承されている。昭和56年2月に田野畑村指定文化財となっている。



出席者全員による万歳三唱